



## 中島愛実

トランペット奏者／なかじまめぐみ

profile ●千葉県一宮町出身。東京音楽大学トランペット専攻卒業。11歳からトランペットをはじめ、これまでに奥野儀光、津堅直弘氏らに師事。第17回浜松国際管楽器アカデミーロバート・サリバンクラスを修了。第19回千葉市芸術文化新人賞(奨励賞)受賞。現在は演奏活動や指導のほか、幅広く活動中。

トランペットという楽器の魅力を  
もっと身近に感じてほしい！

誰でも楽しめる演奏を心がけ、クラシック、ジャズ、ポップスと幅広いジャンルで、トランペットの演奏を続ける中島さんに、演奏家として思うことを伺いました。

トランペットを始めたきっかけと、その後の関わりを教えてください。

小学5年生のときに、金管バンドで吹いたのが初めてです。中学高校時代は、吹奏楽部と地元の市民バンドに所属していました。市民バンドで「先生に習ってみたら」と勧められて、中2からレッスンに通うようになり、ソロコンテストでグランプリを受賞しました。高校生のときにはすでに、音大に行ってプロの演奏家になろうと決めていました。その後も同じ思いでしたが、大学卒業後プロとして活動してみると、レッスン以外の仕事はほとんどない状態で、続けるべきなのか考えましたね。

そんなある日、子どもの頃から憧れていたトランペット奏者の来日コンサートを観る機会があって、演奏を聴いたら涙が止まらなくなったんです。そのとき、やっぱり私はプロとしてステージに立ってトランペットを吹きたいと強く思いました。

最近の活動内容を教えてください。

現在は、ソロでの演奏活動や講演、部活動の指導、吹奏楽団の指揮などを行っています。ここ3年ほどは、コロナ禍で演奏会や対面レッスンの機会がほとんどなくなったことで、SNSを積極的に活用して、演奏の配信やリモートレッスンを行うようになりました。YouTubeで演奏や生演奏のライブ配信を行うことで、普段トランペットには興味がなかったようなかたがたにも演奏を聴いてもらえるようになり、今では、全国、全世界の人たちと音楽を通じて交流しています。

中島さんが思うトランペットの魅力とは何ですか？

トランペットというと、ファンファーレみたいなものを想像するかたが多いと思いますが、実は柔らかい音も出せるんです。金管楽器でありながら、木管楽器や弦楽器のような表現もできるし、オーケストラや吹奏楽、ジャズ、ポップスなどさまざまなジャンルの音楽と相性のいい楽器なんですよ。

中島さんの演奏家としてのセールスポイントはなんですか？

私は、演奏を聴いてもらうためにはトークも重要だと思っているので、曲と曲の合間の解説はわかりやすく面白く話すようにしています。配信する動画では、アニメのコスプレをしたり、ときにはギャグを交えたりもしています。月に一度YouTubeで「おしゃべりサイタル」と題したライブ配信をしているんですが、そこでも楽しいおしゃべりと演奏を意識しています。聴いてくれているかたがたに、音楽が流れているときもいないときも、楽しんでもらいたいと思っています。

私がしているような活動が、普段はJPOPしか聴かないような若いかたがたが、クラシックやジャズに耳を傾けるきっかけになればいいなと思っています。

音楽家として今後チャレンジしたいことや、夢はありますか？

大学時代に寄席と音楽をコラボした「洋楽寄席」というものをやったことがあってとても好評だったんですね。その経験をふまえて、絵本作家さんの映像や和楽器など、今まで一緒にやったことがないようなジャンルのアーティストさんとコラボしたいなと思っています。そして、この先の夢というか目標は、歯がなくなるまでトランペットを吹き続けることです(笑)。

千葉市みなさんにメッセージをお願いします。

音楽は、思い出や気持ちに寄り添うことができるものだと思います。私も、音楽に助けられた経験があります。聴いてくれるかたの心に届くような演奏をしていきたいと思っていますので、ぜひいちどYouTubeで聴いてみてください。そして演奏が気に入っていただけたら、コンサートに足を運んで生音を感じてもらいたいです。

11月末にはCDをリリースする予定ですので、興味がありましたらぜひよろしくをお願いします。